

特別企画：九州・沖縄地区の外食産業売上高ランキング（2018年度）

「飲食」は売り上げ減少、「中食」は増加 ～売上高トップは「プレナス」、伸び率トップは「JIS」～ はじめに

一般社団法人日本フードサービス協会が 2019 年 7 月に発表した 2018 年（平成 30 年）の外食産業市場規模（料理品小売業を含む広義）では、訪日外国人の増加や法人交際費の増加により前年比 0.8%増加し、33 兆 929 億円の推計となった。しかし、当推計や今回発表の 2018 年度の売上高ランキング時点では、2019 年 10 月から実施された消費税増税や近時の新型コロナウイルス感染拡大の影響は反映されていない。昨今、飲食業界に大打撃を与えている訪日外国人の急減や宴会の自粛等がどれ程、企業に影響を及ぼしているかを比較するうえで今回のランキングはひとつの指標となるだろう。

帝国データバンク福岡支店では、企業概要データベース「COSMOS 2」（約 147 万社収録）から、九州・沖縄地区（以下、九州）に本社を置き、外食事業を主業とする企業を抽出。売上高上位 50 社の 2018 年度（2018 年 4 月期～2019 年 3 月期）の売上高や税引き後利益、その伸び率などをまとめた（売上高には一部推定を含む）。

なお、本調査でいう「外食」には、レストランなど飲食店における「飲食」事業をはじめ、持ち帰り弁当や宅配サービスなど料理品小売業に分類される「中食」事業、病院・福祉施設などにおける「給食」事業も含めて集計した。

本調査は 2019 年 2 月（2017 年度調査）に続く 19 回目。

調査結果（要旨）

1. 2018 年度の売上高ランキングは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する（株）プレナス（東証一部、福岡市）が 16 年連続のトップ
2. 2018 年度の売上高伸び率ランキングは（株）JIS（福岡市）がトップ。以下、（株）Be bloom（福岡市）、（株）イートスタイル（宮崎県小林市）と続いた
3. 売上高上位 50 社の 2018 年度の合計売上高は 4669 億 2200 万円。前回調査（2017 年度）に比べて 5.2%減と、合計売上高は 3 年ぶりに減少した
4. 前年度売上高との比較が可能な 48 社のうち「増収」企業は 30 社（構成比 62.5%）となり、構成比は前年度（69.4%）を 6.9pt 下回った。また、税引き後利益が「赤字」となった企業が 8 社（構成比 16.7%）、「減益」企業も 19 社（同 39.6%）にのぼるなど、損益が悪化した企業が目立った
5. 倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2018 年度は前年度比 9.5%減の 38 件（4 件減）だった

1. 売上高ランキング [50位までのランキング表は末尾掲載]

2018年度の売上高ランキングでトップになったのは、持ち帰り弁当店「ほっともっと」や定食店「やよい軒」を展開する**(株)プレナス（東証一部、福岡市）**。「やよい軒」事業は、2019年1月から新商品のお知らせやクーポンなどを配信する「やよい軒公式アプリ」を導入し、顧客の来店促進を図った。一方、「ほっともっと」事業では、従来のとんかつよりも食べ応えや食感にこだわった「ロースかつシリーズ」を販売するなど定番商品の強化を図ったほか、TVCMなどの宣伝活動も強化した。また、スマートフォンを利用した会員サービス「My Hotto Motto」から得たデータをもとに、広告販促や商品開発に取り組んだ。両事業とも上記の活動に加え、既存店舗の売り上げ増加や新規出店による店舗数の増加により総売上高は前期比4.6%増の1428億4300万円となった。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位10社(2018年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	1	(株)プレナス	福岡市	中食	持ち帰り弁当「ほっともっと」、定食店「やよい軒」	2	142,843	4.6%
2	2	注1 ジョイフルグループ各社合計	大分市	飲食	ファミリーレストラン「Joyful」（ジョイフル）	6	31,090	-
3	3	(株)一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	20,268	12.5%
4	4	注2 梅の花グループ(東日本・西日本)	福岡県久留米市	飲食	飲食店「湯葉と豆腐の店 梅の花」	9	16,772	▲0.5%
5	5	(株)ヒライ	熊本市	中食	持ち帰り弁当店「おべんとうのヒライ」、食堂「まんま・家」	5	16,113	1.5%
6	8	(株)力の源カンパニー	福岡市	飲食	ラーメン店「博多一風堂」、居酒屋「行集談 四郎商店」「五行」	3	15,444	6.4%
7	6	(株)ウエスト	福岡市	飲食	うどん・そば店、焼肉店「WEST（ウエスト）」	2	15,300	▲0.3%
8	7	東洋食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味処 花咲」「四季の創菜旬」「花小町」「味花」	11	14,246	▲2.1%
9	9	栄食メディックス(株)	福岡市	給食	施設内の飲食サービス業務の受託運営	9	13,600	▲0.6%
10	10	(株)イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	10,671	10.5%

【売上高には推定値を含む】

注1 (株)ジョイフルは、2016年1月に直営店舗の事業部門を11の地域子会社に分割譲渡、持ち株会社へ移行した。売上高は、(株)ジョイフルおよび各地域子会社の直営店販売実績合計(有価証券報告書記載)。なお、決算月変更のため、前年度伸び率は算出できない。

注2 梅の花グループは、2016年10月に東日本と西日本における店舗事業をそれぞれ(株)梅の花サービス東日本、(株)梅の花サービス西日本に分割。2018年度は両社の売上高(有価証券報告書記載)を合算した。

2位は、ファミリーレストラン「Joyfull」を展開する**(株)ジョイフル（福証、大分市）グループ**。決算期を12月から6月に変更したため、2018年6月期決算は6カ月の変則決算となったものの、去年に引き続き2位をキープ。期中は、投資額を抑えた直営新型の「ジョイフル」を4店舗、新ブランドの蕎麦居酒屋「二五〇」を1店舗出店した。

3位は、**(株)一蘭（福岡市）**。ラーメン店経営では、前期に新規出店した8店舗が通期にわたって売上寄与したことや、2018年10月に座席数73席の大型店舗「那覇国際通り店」などを新規出店したことで増収となった。また、前期に引き続き、中国人を中心としたインバウンド効果（訪日観光客の来

店）を狙った出店攻勢によって、前期比 12.5%増の 202 億 6800 万円となった。土産品の販売についても袋ラーメンを中心として、駅、空港に加え、ドン・キホーテ、イオンにおける取扱い店舗が拡大したほか、お歳暮シーズンに「一蘭ギフトセット」を新発売したことも寄与した。

2. 売上高伸び率ランキング

2018 年度の売上高伸び率ランキングでトップになったのは、売上高ランキングに 43 位で初ランクインした**（株）J I S（福岡市）**。社交場をコンセプトにした飲食店「J I S」を北海道、大阪をはじめ 7 店舗展開している。前期にオープンした「J I S NAMBA」が通期にわたって売上寄与したほか、期中 6 月には最大級の店舗となる「J I S UMEDA」を新規出店し、オープンから 2 カ月後には月間来店者数が約 2 万 2000 人になるなど大幅増収の要因となった。時代のニーズに合った飲食店の新たな形が売り上げ伸び率の数値にも表れている。

九州・沖縄地区 外食産業売上高伸び率ランキング上位10社(2018年度)

伸び率順位	全体 順位	商号	所在地	事業 形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
1	43	（株）J I S	福岡市	飲食	「JIS」	9	2,827	57.1%
2	52	（株）Be bloom	福岡市	飲食	「あや鶏」「かこみ庵」	11	2,903	37.4%
3	19	（株）イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「いきなりステーキ」「ボボラマーマ」「サーティワン アイスクリーム」「ピピン亭」各FC	2	5,706	30.3%
4	50	（株）ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおやま」	8	2,501	23.3%
5	29	（株）梅の花 p l u s	久留米市	中食	持ち帰り総菜・弁当店「梅の花」	9	3,725	15.4%
6	3	（株）一蘭	福岡市	飲食	ラーメン店「一蘭」	12	20,268	12.5%
7	21	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	4,882	10.5%
8	10	（株）イーティーズ	福岡県鞍手町	中食	量販店内での惣菜・弁当小売	2	10,671	10.5%
9	11	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「エス パル・ガー」」「ソフトハウス」各FC	3	8,917	9.1%
10	26	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、サーティワンアイ スクリームFC	6	4,031	8.9%

〔売上高には推定値を含む〕

2位には、売上高ランキングに 42 位で初めてランクインした**（株）Be bloom（福岡市）**が入った。福岡県内を始めとする九州地区で、九州の地鶏を用いた鶏料理などを提供する「あや鶏」、九州郷土料理店「かこみ庵」などを展開している。地域情報誌への広告掲載など積極的な広告宣伝によって宴会やグループでの来店客数が伸びたほか、期中に 2 店舗を新規出店したことで前期比 37.4%増となった。

3位は、前回売上高伸び率でトップだった**（株）イートスタイル（宮崎県小林市）**がイオンモールを中心に「いきなりステーキ」や「ペッパーランチ」のFC店を新規出店したことで前期比 30.3%増

となった。

3. 売上高上位 50 社の合計売上高推移

九州の 2018 年度の外食産業売上高合計（売上高上位 50 社）は前年度比 5.2%減の 4669 億 2200 万円と、合計売上高は 3 年ぶりに減少した。

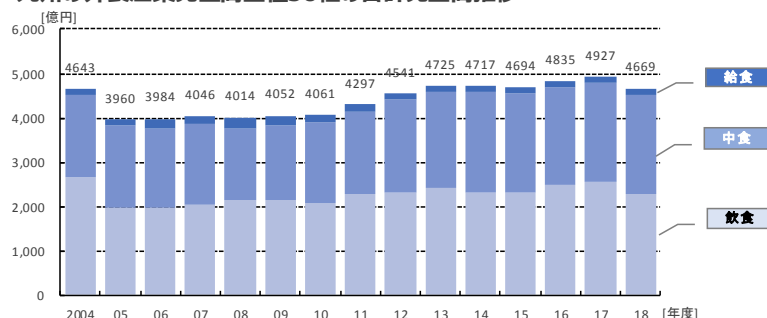
業態別にみると、「飲食」が前年度比 11.2%減の 2270 億 2800 万円（構成比 48.6%）と 4 年ぶりに減少した。前期に熊本地震の復興需要があった企業の反動減や、不採算店舗の閉鎖や、来店客数の減少が要因としてあげられる。

「中食」は同 1.3%増の 2262 億 9400 万円（同 48.5%）と、2 年連続で増加した。前回より社数が 1 社少ないものの、売上高ランキングトップのプレナスの売上増が要因のひとつとしてあげられる。プレナスを除いた「中食」の合計売上高は前年度比 3.8%減の 834 億 5100 万円と、7 年ぶりに前年度を下回った。

出店しているスーパーの競合激

化などによる閉店や再編成の影響で撤退を余儀なくされる企業の減収が見受けられた。一方、自店舗を持つ企業やディスカウントストア・ドラッグストアに出店している企業などは増収基調にある企業が多く、明暗が分かれる結果となった。

■九州の外食産業売上高上位50社の合計売上高推移



■売上高上位50社の事業形態別売上高推移

		飲食	中食	給食	合計
2016年度	合計売上高	248,586	220,885	14,000	483,471
	社数	36	13	1	50
2017年度	合計売上高	255,671	223,351	13,681	492,703
	社数	35	14	1	50
2018年度	合計売上高	227,028	226,294	13,600	466,922
	社数	36	13	1	50

※ 集計企業は、毎年入れ替わりがある

(単位 上段：百万円、下段：社)

■「プレナス」を除く49社の合計売上高の推移

(単位：百万円)

		50社 合計売上 高 (A)	「中食」 合計売上 高 (B)	プレナス 売上高 (C)	49社 合計売上高 (A-C)	「プレナス除く 「中食」 合計売上 高 (B-C)
2016年度	合計売上高	483,471	220,885	138,282	345,189	82,603
	前年度比伸び率	3.1%	▲0.6%	▲3.6%	6.1%	5.1%
2017年度	合計売上高	492,703	223,351	136,584	356,119	86,767
	前年度比伸び率	1.9%	1.1%	▲1.2%	3.1%	5.0%
2018年度	合計売上高	466,922	226,294	142,843	324,079	83,451
	前年度比伸び率	▲5.2%	1.3%	4.6%	▲9.0%	▲3.8%

4. 売上高・損益の推移

売上高上位 50 社のうち、前年度との比較可能な 48 社の売り上げ動向を見ると、「増収」企業は前年度比 4 社減の 30 社となった。一方、減収企業は同 3 社増の 18 社。業態別に増収企業をみると、「飲食」が前年度比 4 社減の 23 社、「中食」は 7 社で前年度と変わらずだった。

■売上高上位50社の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	14 (16)	1 (1)	10 (12)	4 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (4)	30 (34)
減収	2 (3)	0 (2)	9 (5)	1 (1)	0 (1)	3 (2)	3 (1)	18 (15)
合計	16 (19)	1 (3)	19 (17)	5 (1)	0 (3)	3 (2)	4 (5)	48 (49)

※ 2017年度は前年度との比較が困難な1社を除く49社、2018年度は同様に2社を除く48社を分析した

■飲食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	12 (14)	1 (1)	7 (8)	2 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (3)	23 (27)
減収	1 (2)	0 (1)	3 (1)	1 (1)	0 (1)	3 (1)	3 (0)	11 (7)
合計	13 (16)	1 (2)	10 (9)	3 (1)	0 (2)	3 (1)	4 (3)	34 (34)

※ 2017年度は前年度との比較が困難な1社を除く34社、2018年度は同様に2社を除く34社を分析した

■中食事業者の売上高／損益状況

	黒字			赤字			未詳	合計
	増益	黒字転換	減益	赤字転落	赤字縮小	赤字拡大		
増収	2 (2)	0 (0)	3 (4)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	7 (7)
減収	1 (1)	0 (1)	5 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	6 (7)
合計	3 (3)	0 (1)	8 (8)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	13 (14)

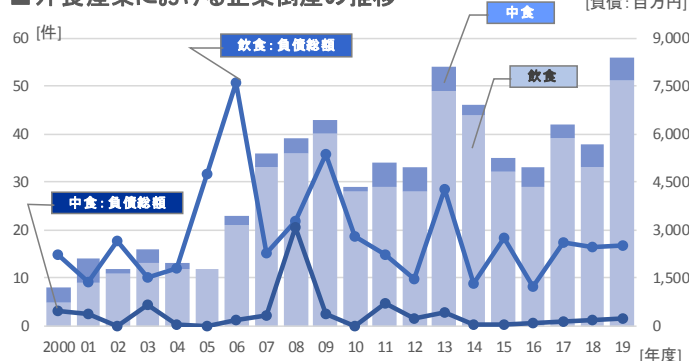
利益が減少した企業（「減益」「赤字転落」「赤字拡大」の合計）が前年度比 4 社増の 27 社（構成比 56.2%）と半数を超えた点は注目すべきポイントだ。野菜をはじめとした食材価格の高止まりも要因の一つだが、人手不足による人件費の高騰や従業員の待遇改善、アルバイトの時給アップといった人件費負担の増加が収益を圧迫している。

5. 倒産動向

九州における外食産業の倒産（法的整理のみ、負債 1000 万円以上）件数をみると、2018 年度は前年度比 9.5%減（4 社減）の 38 件だった。

負債総額は同 1.6%減の 26 億 9400 万円。負債額が 3 億円を上回ったのは、春日管財（株）（旧商号：（株）ジェイアンドジェイ）（熊本市、2018 年 12 月特別清算、負債約 14 億 4500 万円）の 1 件のみで、同 1 億円未満の倒産が 35 件（構成比 92.1%）と小規模倒産が中心となった。

■外食産業における企業倒産の推移



2019年度は2019年4月から2020年2月までの11カ月間
倒産件数は計56件（うち「飲食」51件、「中食」5件）

まとめ

売上高上位 50 社の合計売上高は3年ぶりに減少した。熊本地震の復興需要があった企業の反動減や、不採算店舗の閉鎖、来店客数の減少で「飲食」事業での減収が目立った。一方、「中食」事業では、出店先であるディスカウントストア、ドラッグストアの新規出店にともなう自店舗の増加で増収基調にある企業が見受けられた。

しかし、人手不足による人件費の増加や原材料価格の高騰などのコスト増で、外食産業の収益環境は厳しさが増している。加えて「働き方改革」への対応では長時間労働の是正や同一労働同一賃金の導入などさらなるコスト負担は避けられないだろう。

昨今の動向として、「飲食」事業では、2019 年 10 月から実施された消費税増税により客足の減少や軽減税率制度の影響で「中食」に流れる客が増加した。国内消費者の節約志向が高まるなかで、インバウンド需要に活路を見いだしていた企業は多かったものの、近時は新型コロナウイルス感染症の影響でインバウンド需要の活路が絶たれているうえに、宴会などの自粛ムードが広がっており、一層「飲食」事業の環境が冷え込むことは明かだ。「中食」事業は軽減税率の導入で「飲食」事業より打撃は小さく、新型コロナウイルス感染拡大防止による“巣ごもり消費”が増えていることで追い風となっている。特に宅配サービスやテイクアウトの需要が高まっており、今後、「飲食」と「中食」とで、売り上げの増減が分かれる可能性がある。

すでに、2019 年度の外食産業の倒産件数は 2020 年 2 月までの集計で前年同期比 18 件増の 56 件に達している。うち飲食店の倒産は同 18 件増の 51 件と 2000 年度の調査以来、初の 50 件台となった。新型コロナウイルスの影響で営業を自粛していた店舗の大量閉鎖を決めた外食チェーンも出ており、今後、感染拡大が長期化するようであれば、飲食業界の先行き不透明感はさらに高まっていくとみられる。

【内容に関する問い合わせ先】

株式会社帝国データバンク福岡支店情報部 担当：^{はやし} 晨 智海（分析）／橋谷祐樹（集計）

TEL：092-738-7779 FAX：092-738-8687

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

九州・沖縄地区 外食産業売上高ランキング上位11～50社(2018年度)

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
11	12	J R九州ファーストフーズ(株)	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「ミスタードーナツ」「モスバーガー」「シアトルズ・ハートコート」各FC	3	8,917	9.1%
12	11	(株)古市庵	福岡県久留米市	中食	持ち帰り寿司店「浪花古市庵」「おにぎり畑 晴れ晴れ」「おむすび紀行」	9	8,419	▲5.1%
13	13	(株)庄屋フードシステム	長崎県佐世保市	飲食	和食レストラン「庄屋」「雑魚屋」、天ぷら専門店「那かもら」	3	8,378	5.4%
14	14	(株)むすんでひらいて	福岡県鞍手町	中食	量販店内での総菜・弁当小売	2	7,319	2.9%
15	16	J R九州フードサービス(株)	福岡市	飲食	創作料理店「うまや」、居食店「驛亭」、駅構内レストラン	3	7,104	1.0%
16	17	九州産交リテール(株)	熊本市	飲食	高速道路SAでのレストラン経営、熊本城桜の馬場城彩苑内レストラン	9	6,490	▲4.3%
17	18	風月フーズ(株)	福岡市	飲食	高速道路SA・空港でのフードコート・レストラン経営、「グルメ風月」	12	6,029	▲5.2%
18	19	(株)ジェイシーシー	沖縄県糸満市	飲食	和食・沖縄料理店「わだや」、沖縄地料理店「龍潭」「波照間」	5	5,942	4.0%
19	26	(株)イートスタイル	宮崎県小林市	飲食	「いきなりステーキ」「ボボラマーマ」「サーティワンアイスクリーム」「ビビン亭」各FC	2	5,706	30.3%
20	20	九州惣菜(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「彩花」	9	4,903	▲2.3%
21	25	昭和フード(株)	佐賀市	飲食	「マクドナルド」FC	3	4,882	10.5%
22	21	(株)ブレンズ	沖縄県浦添市	中食	持ち帰り弁当店「ほっともっと」、定食屋「やよい軒」FC	3	4,795	0.2%
23	24	(株)寿福産業	鹿児島市	飲食	和食店「ぶく福」、黒豚料理店「寿庵」、ラーメン店「十八番」、回転すし店「めっけもん」	3	4,500	1.3%
24	23	昭和食品(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「味楽」	12	4,200	▲6.2%
25	29	(株)鹿児島なべしま	鹿児島市	飲食	焼肉レストラン「焼肉なべしま」	5	4,045	5.7%
26	33	エイ・アンド・ダブリュ沖縄(株)	沖縄県浦添市	飲食	ファーストフード店「A & W」、サーティワンアイスクリームFC	6	4,031	8.9%
27	27	(株)ポールスター	福岡市	飲食	「ケンタッキーフライドチキン」「サウザンFC」	6	3,825	▲8.3%
28	28	(株)坂本	熊本市	飲食	回転すし店「九州すし市場」「ばんばん寿し」、焼肉店「えんや」	7	3,788	▲5.2%
29	37	(株)梅の花plus	福岡県久留米市	中食	持ち帰り総菜・弁当店「梅の花」	9	3,725	15.4%
30	35	(株)アマーシュ	福岡市	飲食	居酒屋「ぶあいそ」「北海道食市場 丸海屋」「博多黒鉄」	11	3,665	7.1%
31	31	昭産商事(株)	北九州市	中食	量販店内総菜店「四季彩」	2	3,556	▲3.3%
32	38	(株)フェリックス	福岡市	飲食	居酒屋「とめ手羽」、ダーツカフェ「TITO」	3	3,450	0.1%
33	34	(株)プレナス・エムケイ	福岡市	飲食	レストラン「しゃぶしゃぶダイニングMK」	2	3,440	▲0.2%
34	30	(株)めいじん	大分市	飲食	回転すし店「寿司めいじん」、焼鳥専門店「鳥ざんまい」、天ぷら店「天風」	2	3,290	▲12.9%
35	—	注3 (株)十徳	熊本市	飲食	居酒屋「十徳や」「さかな市場」「寿里庵」	3	3,243	—

〔売上高には推定値を含む〕

注3 (株)十徳は、2018年6月に(株)ジェイアンドジェイから事業を譲受し、再会。2018年度の業績は実質9カ月間のため、前年度伸び率は算出できない。

次ページに続く

順位	前年度順位	商号	所在地	事業形態	主な「店舗名」、事業内容	決算月	売上高 (百万円)	前年度比 売上高 伸び率
36	39	(株)ハーバーハウス	福岡市	飲食	海鮮料理店「釣船茶屋さつお」、定食・居酒屋「多幸橋本店」	9	3,235	3.5%
37	40	M i コーポレーション(株)	福岡市	飲食	お好み焼レストラン「どんどん亭」、ファーストフード店「どんどんまるや」	5	3,194	2.7%
38	43	(株)グラノ24K	福岡県遠賀郡	飲食	レストラン「野の葡萄」「花葡萄」「ぶどうの樹」	3	3,079	3.1%
39	41	(株)うちだ屋	福岡市	飲食	食堂「うちだ屋」「麵勝」、セルフうどん店「めん勝」	9	3,037	1.6%
40	42	(株)ハルフードシステム	長崎県佐世保市	飲食	イタリアンレストラン「マルゲリータ」、和食レストラン「百菜旬」	3	2,980	▲0.3%
41	36	(株)西鉄プラザ	福岡市	飲食	うどん店「やううどん」、「ト・トル・ヒーショッア」、「ミスター・ナナ」各FC	3	2,931	▲10.1%
42	52	(株)B e b l o o m	福岡市	飲食	居酒屋「あや菊」「かこみ庵」	11	2,903	37.4%
43	66	(株)J I S	福岡市	飲食	レストラン & バー「JIS」	9	2,827	57.1%
44	44	(株)イワタダイナース	福岡市	中食	宅配ピザ・お好み焼き店「ピザクック」	2	2,819	▲1.1%
45	46	(株)O・B・U Company	福岡県筑紫野市	飲食	居酒屋「松介」「博多ほたる」、焼肉店「龍王館」、ラーメン店「中る」	9	2,798	1.1%
46	49	(株)唐十	北九州市	中食	からあげ惣菜や弁当店「唐十」	3	2,685	7.4%
47	45	(株)八仙閣	福岡市	飲食	中華レストラン「八仙閣」、日本料理「銀香梅」	3	2,672	▲3.9%
48	47	(株)雄和	熊本市	飲食	焼肉レストラン「彩炉」、和風ダイニング「土房」	7	2,663	3.3%
49	48	(株)タケノ	福岡市	飲食	居酒屋「竹乃屋」「博多ビストロタケノヤ」	3	2,609	3.4%
50	57	(株)ラブ	福岡市	飲食	もつ鍋店「おおよま」	8	2,501	23.3%

〔売上高には推定値を含む〕